

平成27年度第3回青梅市協働事業市民推進委員会議事録

平成27年12月4日

201会議室

午前10時～正午

出席委員8人

1 あいさつ

よろしくお願いたします。

2 報告事項

(1) 青梅市協働事業市民推進委員会・青梅市市民協働事業推進会議合同
視察研修報告について

事務局より報告

委員長：参加した委員に感想を伺いたい。

委員：先進市なので環境から考えるといいなと思った。

もう少しNPO法人の話を知りたい。障がい者関係との複合施設、集まれ場所があればいいと感じた。

委員：自治会に加入しているが、子どもとその保護者、高齢の方しかいないので、行動ができる大学生などが加入してこれるような何かがあればいい。

委員：市民と行政で作っていくムーブメントが印象に残っている。プラットフォームも発展できるといい。活動拠点に印刷機、ミーティングの場所があればいい。商工会議所がセンタービル1階におうめ創業支援センターを設置したように、開けた場所を作っていけるとよい。

委員：はじめて見学に行った。建物は古いがそれを活用して運営できるといい。三鷹市協働センターはコンパクトの中で活用していた。青梅は広いのでそれを活用できたらいい。

委員：三鷹の無作為で抽出したディスカッションはいい。なかなか自分から出席しない人には、ディスカッションに参加することで活動につながるのでは。

委員：自治会加入で話しを聞いた。地域住民協議会はあるが、特段、特別活動しているようには見えなかった。自治基本条例があった。

委員：青梅市には自治基本条例を制定する予定はあるのか。

事務局：聞いてはいない。

委員：研修には参加していないが、資料の3市比較表みると、青梅は他市に劣らない活動をしていると感じる。

委員長：協働を推進できる場所と人は必要である。時間をかけていかなければならない。若者が青梅に住みたいと思いつづけられるといいので、この委員会でセンターを設置してほしいと意見できないのか。

事務局：手法としてできる。それなりの裏付けとバックデータは必要である。ただ、市民活動団体を対象にしたアンケート結果では、青梅ボランティア・市民活動センターを利用したことがない団体に対して青梅ボランティア・市民活動センターを利用しない理由についての設問では、他に活動拠点があるからの声が多かった。

委員長：視察のまとめとして、活動拠点の設置課題としてあげたい。

事務局：センターや自治会のからみや、多世代交流というのもあるので、どの場所に設置するのかは課題である。

委員：自治会館は、電気代を負担してもらえれば可能なのでは。

委員長：安心、安全といわれているが、自治会に加入している、していないにかかわらずネットワークをつくっていくことが課題なのでは。

委員：自主防災などあるが、どう取り組んでいくのかが難しい。

委員：市民センターは遠いが、自治会館は近くにある。利用することで自治会への意識も変わるのではないか。

委員：自治会館をサタデースクールでも利用しているが、昼間はあいている。

委員長：自治会館の利用料金を徴収し、自治会費をさげたらどうか。

委員：さまざまな考え方があるのでなんともいえない。

委員長：委員会としては、「協働推進できる施設の充実」、「自治会館を活用してのまちづくり」市民センター、文化施設の建設のからみがあるが研究できたらいい。

(2) 平成26年度協働事業評価結果について

事務局より報告

委員長：形態はわかるが、具体的にどのようにすれば共催してもらえるのかとの声は聞く。

事務局：計画段階では、はっきりしないので事業を行っていく中で、決めていく。

委員長：団体がやりたいと言った場合には、青梅ボランティア市民活動センターに相談にくのか、市に相談に行くのか。

事務局：協働ナビでは、青梅ボランティア市民活動センターへとなっている。

委員：どのように共催してもらえるのかわからない。実際に相談を受け市へ相談したケースもあるが、なかなか共催してもらえない。

委員長：ボランティア会議などで、市の方と交流する場ができたらいい。

事務局：平成25年度の協働研修で団体と市職員と合同で研修を行った。

現在は、団体の組織強化が課題となっているので団体向けの研修と職員向けと分けて行っている。

委員長：参加したが、職員は若手が多かった。

事務局：時勢に合致した研修を実施していきたい。

委員：先ほどの話は、青梅ボランティア市民活動センターに相談に行ったがつながらなかったものだったのか。

委員：立案から関わらなければいけないなどもあるかもしれない。

委員長：行政も簡単には行かないのでは。

委員：段階を踏んでいかなければいけない。

事務局：市の方針もある。

委員長：広報など簡単な部分から関わってもらえればいいのでは。

委員：平成26年度実施した101事業は、青梅ボランティア市民活動センター経由なのか。

事務局：継続している事業が多い。

委員：市から相談を受け団体に声をかけることもある。

委員：継続事業の見直しをしていかないと、新規事業が入っていけ

ない。

(3) 平成27年度市民提案協働事業中間報告について

事務局より説明

委員長：ママニコットが行うママフェスタは打合せをしたのか。

事務局：これから行う。詳細は今後決めていく。

委員：事業の終わりはいつか。

事務局：単年度事業のため、平成28年3月31日までである。

(4) 平成28年度市民提案協働事業実施スケジュールについて

事務局より説明

委員：どのような形態でもいいのか。

事務局：内容に合った形態で進めて行く。

委員：スケジュールに沿って行うのか。

委員：評価の一覧表がほしい。

事務局：市民提案協働事業の場合のスケジュールである。先ほど紹介した平成26年度協働事業は常に行っている。

委員：4月、5月は対象にならないのか。

事務局：対象にはならない。

(5) NPO・市民活動団体を対象アンケート調査結果報告について

事務局より説明

委員：活動年数が1年未満の団体が少ない、新規の団体が少ないのを感じた。青梅ボランティア・市民活動センターを知っている、知らないでは差があるのではと感じる。

委員：最も活動している場所の設問では、団体の活動拠点につながる。

委員長：市民活動団体が求めているのは、青梅ボランティア・市民活動センターの機能ではないか。

委員：市民センターを利用している団体は、市民センターの講座から立ち上がった団体が継続して利用しているのではないか。

委員：市民センターの運営委員をしているが、市民センターに空きがある状況とお聞きしている。市民センターにもコピー機などや作業できる場所があるので、使用したらいいのでは。

委員：活動拠点が青梅ボランティア・市民活動センターでなければ

いけないわけではない。また、青梅ボランティア・市民活動センター利用の有無の設問では、利用したことが70%あるのでよかったと思っているが、利用したことがない団体に利用しない理由についての設問で、青梅ボランティア・市民活動センターの利用方法がわからなかったがあったので、さらに周知していかなければならない。

(6) その他

事務局：アンケート結果で団体の強化に関する支援として開催してほしい講座については、「効果的な広報に関する講座」の回答も多くあったので平成28年2月29日（月）午後2時～午後4時、（仮）仲間を増やせる！！市民活動の企画力・広報力アップ術を開催します。